

Denka

Possibility
of
chemistry

2022年度 第1四半期 (2023年3月期) 決算説明会資料

証券コード：4061

デンカ株式会社

2022年8月5日

前提 主要指標	02
---------	----

2022年度（2023年3月期）第1四半期 決算概要

① 連結サマリー	（前年比）	04
② 増減要因	（ " ）	05
③ 営業利益 増減要因グラフ	（ " ）	06
④ セグメント別内訳	（ " ）	07
⑤ セグメント別増減要因	（ " ）	08-11

2022年度（2023年3月期）業績予想

① セグメント別業績予想の見直し	（期初予想比）	13
② 株主還元		14
③（参考）上期：セグメント別内訳	（期初予想比）	15
④（参考）通期：セグメント別内訳	（ " ）	16
⑤（参考）セグメント別四半期推移		17

	2021年度 1Q実績 (4-6月)	2022年度 1Q実績 (4-6月)	2022年度 上期予想 (今回予想)	2022年度 通期予想 (今回予想)
為替レートの (円 / \$)	109.8	126.5	131.0	133.0
国産ナフサ (円 / キリットル)	48,100	86,500	84,500	82,400

(単位：億円)

	2021年度 1Q実績 (4-6月)	2022年度 1Q実績 (4-6月)	2022年度 上期予想 (今回予想)	2022年度 通期予想 (今回予想)
投資	76	80	230	460
減価償却費	57	66	130	260
研究開発費	38	39	75	150
有利子負債残高	1,402	1,603	1,580	1,570

**為替は円安、ナフサは想定より上昇しない見通しも、
石炭など他の原燃料価格は想定よりも上昇の見通し**

2022年度第1四半期 決算概要 (2023年3月期)

単位：億円	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	前年比	
売上高	867	944	+ 76	
営業利益	77	49	△ 28	
営業利益率	8.9%	5.2%	△ 3.7%	
経常利益	75	51	△ 24	金利・営業外損益等+5
純利益	62	43	△ 18	法人税等、他+6

各利益とも、前年比減益

前年比（億円）

売上高

944億円

+ 76

- | | | |
|---------|--|-------|
| 1. 数量差： | 新型コロナ検査キット：需要の裾野が拡大
xEV関連製品：自動車減産の影響により一時的に低調
TV、スマホ、家電関連製品：上海ロックダウンの影響により需要減 | △ 50 |
| 2. 売価差： | 新型コロナ検査キット：保険点数引き下げによる価格下落
アセチレンブラック：製品価値に見合った大幅な価格改定
クロロプレンゴム、スチレン系製品等：原燃料価格上昇に対応した製品販売価格改定 | + 127 |

営業利益

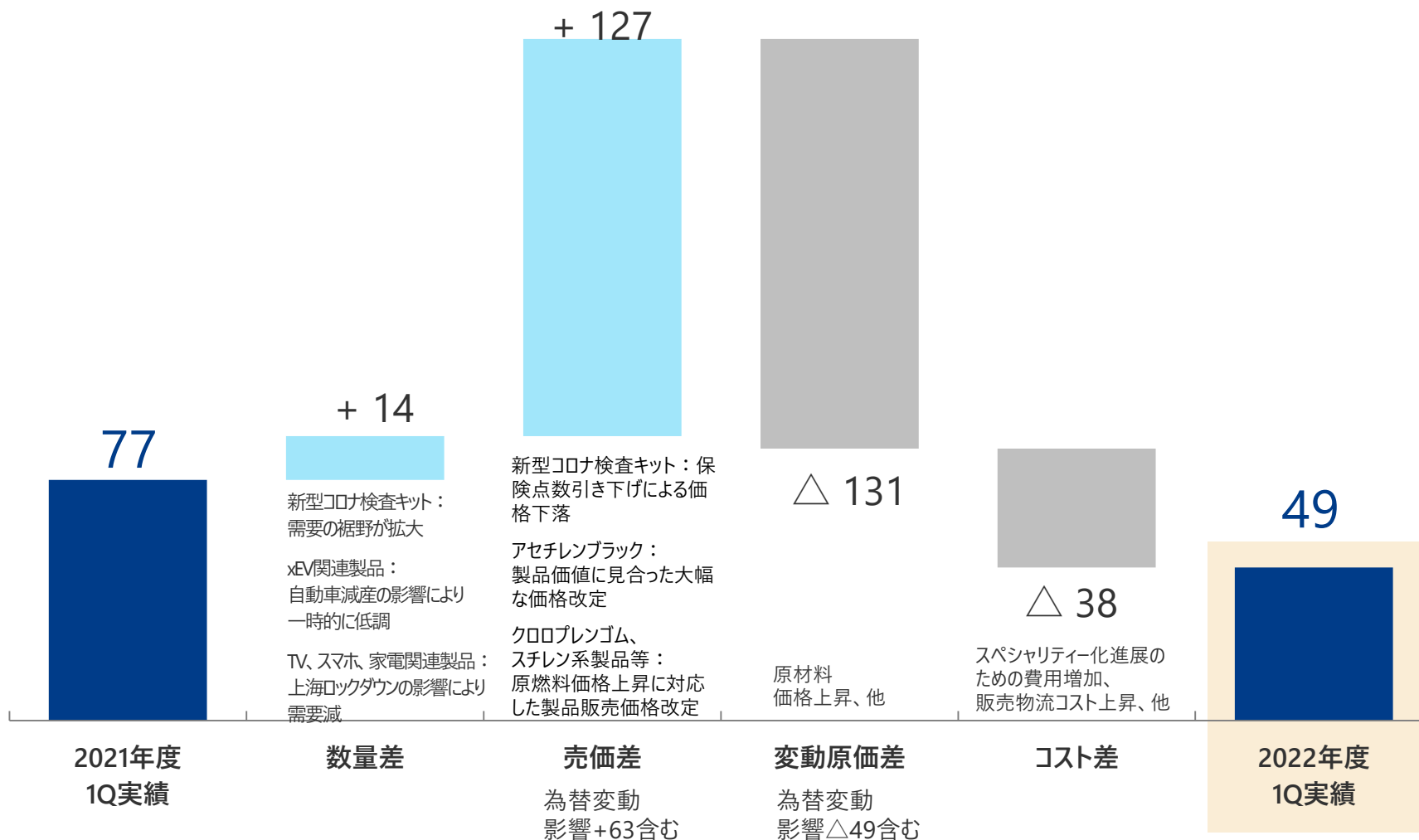
49億円

△ 28

- | | | |
|-----------|---|-------|
| 1. 数量差： | 新型コロナ検査キット：需要の裾野が拡大
xEV関連製品：自動車減産の影響により一時的に低調
TV、スマホ、家電関連製品：上海ロックダウンの影響により需要減 | + 14 |
| 2. 売価差： | 新型コロナ検査キット：保険点数引き下げによる価格下落
アセチレンブラック：製品価値に見合った大幅な価格改定
クロロプレンゴム、スチレン系製品等：原燃料価格上昇に対応した製品販売価格改定
（為替変動影響+63含む） | + 127 |
| 3. 変動原価差： | 原燃料価格上昇、他（為替変動影響△49含む） | △ 131 |
| 4. コスト差： | スペシャリティー化進展のための費用増加（償却費など）、販売物流コストの上昇、他 | △ 38 |

コロナ検査キット需要拡大により数量差プラスも、コスト増加などにより減益

単位：億円



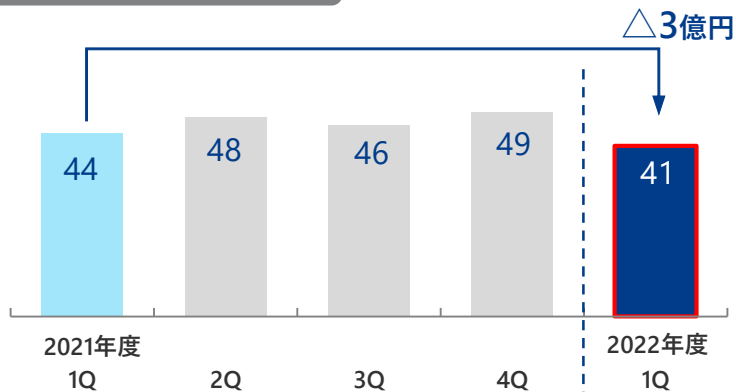
コロナ検査キット需要拡大により数量差プラスも、コスト増加などにより減益

売上高 単位：億円	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	増減	売価差	数量差
電子・先端プロダクツ	210	219	+ 9	+ 28	△ 19
ライフイノベーション	60	64	+ 4	△ 29	+ 34
エラストマー・インフラソリューション	246	304	+ 58	+ 53	+ 5
ポリマソリューション	318	316	△ 1	+ 75	△ 76
その他 / 消去差	35	41	+ 6	-	+ 6
合計	867	944	+ 76	+ 127	△ 50

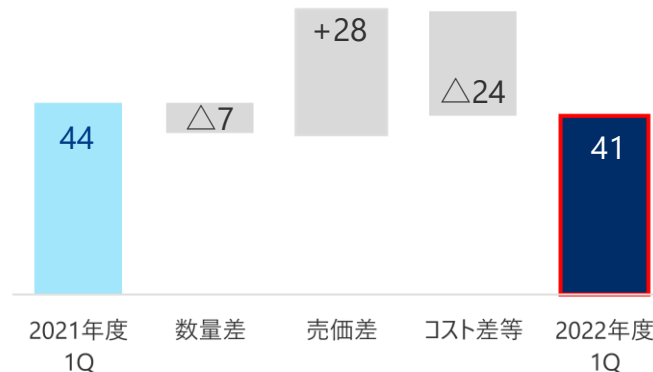
営業利益 単位：億円	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	増減	売価差	数量差	コスト差等
電子・先端プロダクツ	44	41	△ 3	+ 28	△ 7	△ 24
ライフイノベーション	3	5	+ 2	△ 29	+ 31	△ 0
エラストマー・インフラソリューション	1	△ 2	△ 2	+ 53	+ 2	△ 57
ポリマソリューション	26	△ 1	△ 27	+ 75	△ 13	△ 88
その他 / 消去差	4	6	+ 2	-	+ 2	△ 0
合計	77	49	△ 28	+ 127	+ 14	△ 170

ポリマソリューションが大幅減益、他3部門は略前年並み

営業利益 四半期推移



営業利益 差異分析 (前年比)

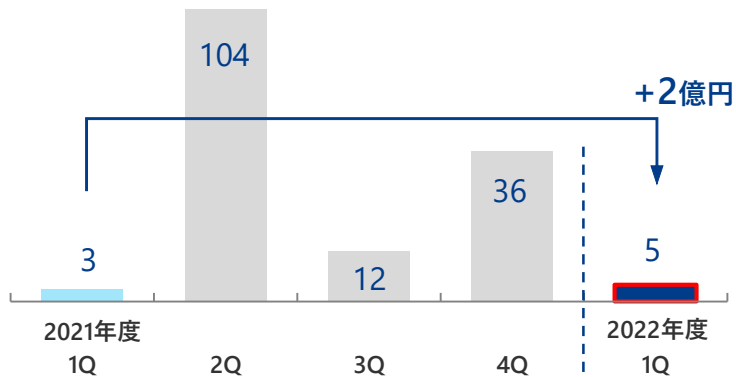
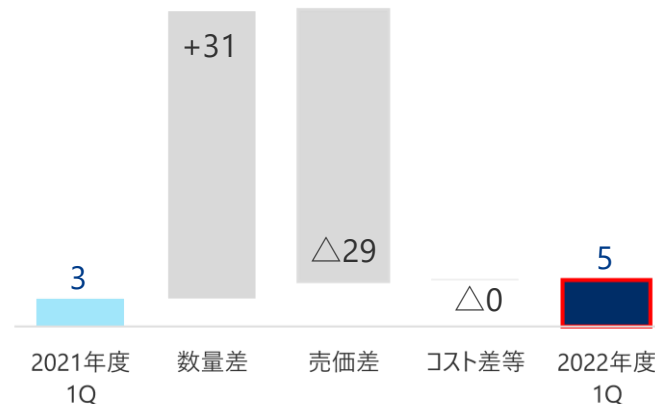


製品別販売動向・コスト

- 球状アルミナ
 - ・ xEV関連、5G通信関連の拡大する需要に対応（22年4月よりシンガポールで新設備を本格稼働）、4-6月に上海ロックダウンや自動車減産の影響を一部受けるも、出荷が前年を上回る
- 球状シリカ
 - ・ 上海ロックダウンの影響を一部受けるも、半導体の強い需要が継続し、前年並みの出荷
- 高機能フィルム
 - ・ 原材料価格高騰に対応した機動的な値上げを実施
- アセチレンブラック
 - ・ 高压ケーブル用途の需要が堅調に推移するも、xEV関連は半導体不足による自動車減産、上海ロックダウンの影響を受け、出荷が前年を下回る
 - ・ 製品価値に見合った価格へ改定したことにより、販売価格が大幅に上昇
- セラミックス基板 (窒化珪素、窒化アルミ)
 - ・ 電鉄向けは、前年に引き続き需要が低調
 - ・ xEV関連は、半導体不足による自動車減産の影響により、出荷が前年を下回る
- コスト
 - ・ 原燃料価格上昇
 - ・ 更なるスペシャリティー化の進展のための費用（増産体制構築や販売体制強化による費用増加など）

半導体不足による自動車減産、上海ロックダウンの影響を一時的に受けるも、
メガトレンドに対応した成長戦略を継続

営業利益 四半期推移

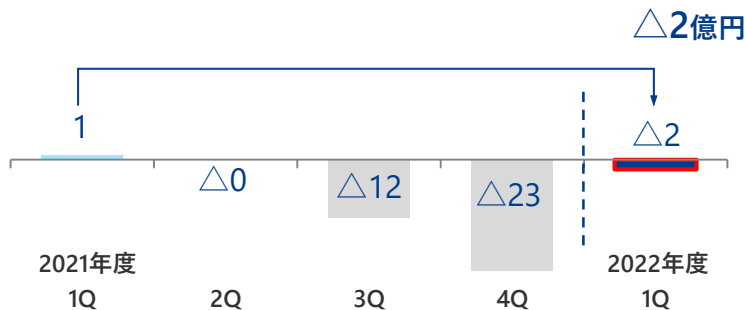
営業利益 差異分析
(前年比)

製品別販売動向・コスト

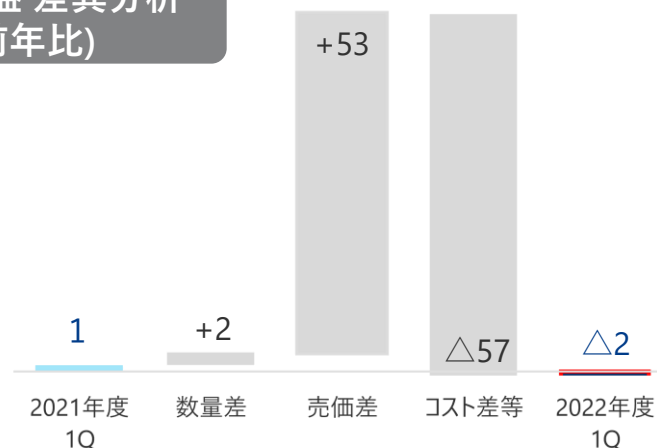
- インフルエンザワクチン** • 9月出荷開始に向けて、原液新棟にて計画通り前年比大幅増産の1,000万本を製造予定
- 新型コロナウイルス抗原迅速診断キット** • 地方自治体を通じた医療機関、高齢者施設、教育機関などへの供給や、スポーツ、イベント、家庭でのスクリーニング検査向けなど需要の裾野が拡大し、出荷が前年を上回る
• 販売価格は、2021年12月31日の保険点数引き下げにより大きく下落
- その他検査試薬 (炎症マーカー等)** • 需要は着実に拡大するも、上海ロックダウンによる病院検査需要の減少や物流の混乱により、出荷は前年並み

**新型コロナ検査キットの売価下落によるマイナス影響も、
需要の裾野拡大による数量面でのプラス影響により、利益が前年並み**

営業利益 四半期推移



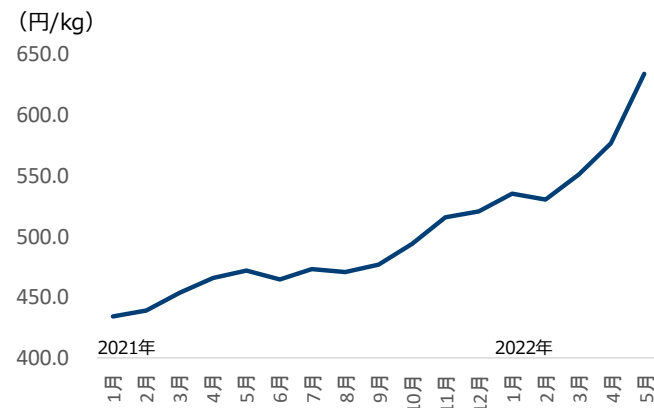
営業利益 差異分析 (前年比)



製品別販売動向・コスト

- クロロプレンゴム
 - 需要が堅調に推移し、出荷が概ね前年並み
 - 原材料価格高騰に対応した値上げによりスプレッド改善 (9月に追加値上げを実施予定)
- 特殊混和材
 - 概ね前年並み
- セメント
 - 1月から2,300円の値上げ達成に向けて交渉するも、進捗が遅れている
 - ウクライナ情勢に伴い石炭価格が急騰 (2021年度1Q: \$108/t → 2022年度1Q: \$373/t)

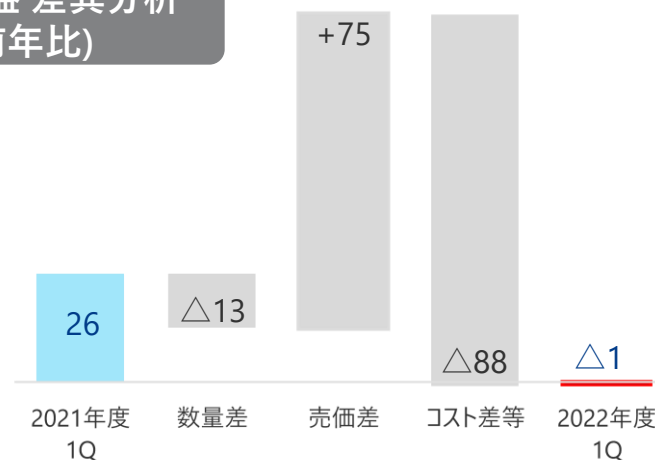
【通関統計】クロロプレンゴム (ドライ+ラテックス) 輸出単価



クロロプレンゴムの値上げによるスプレッド改善も、

セメントの石炭価格急騰によるコストアップにより、全体で利益は前年並み

営業利益 四半期推移

営業利益 差異分析
(前年比)

製品別販売動向・コスト

- MS樹脂
 - 物価上昇によるTVやモニターの需要減や、巣ごもり需要一巡の影響を受けるも、シンガポールでの能力増強により、競合素材からの代替需要を取り込み、出荷が前年を上回る
- AS・ABS・透明樹脂など
 - 国内は、半導体不足による自動車減産の影響を受け、海外は上海ロックダウンの影響に加え、中国市場の景気悪化による家電需要の減速により、出荷が前年を下回る
- 食包シート・容器
 - 概ね前年並み
- Toyokalon
 - アフリカ・米国市場ともにインフレによる購買力低下により、出荷が前年を下回る
- コスト
 - 原材料価格上昇（価格改定によりスプレッドは維持）
 - 販売物流コストの上昇

原材料価格上昇に対応した価格改定によりスプレッドを維持するも、上海ロックダウンや景気悪化などによる需要減少により減益

2022年度 業績予想
(2023年3月期)

営業利益 (単位：億円)	1Q 実績	上期 予想	期初 予想比	通期 予想	期初 予想比	今後の見通し
電子・先端プロダクツ	41	100	△10	225	△10	<p>上期：上海ロックダウン影響等が想定より大きく、下振れ見通し</p> <p>下期：スマホやTVなどは需要減少懸念があるものの、半導体関連製品は底堅く、半導体不足の解消による自動車生産の回復を見込んでおり、コスト上昇に対応した価格改定進捗により期初想定通りの見通し</p>
ライフイノベーション	5	50	+10	110	+10	<p>上期：インフルエンザワクチンが前倒し出荷により上振れの見通し コロナ検査キットは第7波の新規感染者数増加による需要拡大により上振れの見通し</p> <p>下期：インフルエンザワクチンは1,000万本製造見通し コロナ検査キットは第7波以降も需要の裾野が拡大により需要が安定する見通し</p>
エラストマー・ インフラソリューション	△2	15	+5	25	+15	<p>上期：クロロプレンゴムのスプレッド改善が進捗、アグリプロダクツなど他製品の値上げも進捗し、上振れの見通し</p> <p>下期：クロロプレンゴムは定修があるものの、9月より追加値上げで、スプレッドの更なる改善。アグリプロダクツなど他製品でもコスト上昇に対応した値上げを実施</p>
ポリマーソリューション	△1	5	△10	45	△30	<p>上期：上海ロックダウン、物価上昇などによる需要減少や販売物流コスト上昇が想定より大きく、下振れ見通し</p> <p>下期：原料価格上昇に対する価格改定が進むも、家電など需要減による影響が継続する見通し</p>
その他 / 消去差	6	10	+5	25	+15	
合計	49	180	±0	430	±0	

足元の状況を踏まえ、業績予想内訳を修正

セグメントごとに上振れ・下振れがあるも、全体で期初予想を据え置く

		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 通期予想
当期純利益	(億円)	250	227	228	260	290
1株当たり配当*	(円/株)	120.0	125.0	125.0	145.0	145.0 (中間70.0 期末75.0)
配当額	(億円)	105	108	108	125	125
配当性向		42%	48%	47%	48%	43%
自己株取得	(億円)	21	-	-	-	
総還元額	(億円)	126	108	108	125	総還元性向 50%の方針 を維持
総還元性向		50%	48%	47%	48%	
減価償却額	(億円)	229	225	229	239	260
設備投資・投融資額	(億円)	328	369	423	356	460
ROE		10.3%	9.1%	8.8%	9.4%	(9.8%)
自己資本比率		51.0%	50.0%	50.8%	51.7%	(51.3%)
ネットDELシオ		0.40倍	0.42倍	0.42倍	0.40倍	(0.45倍)

1株当たり配当は、前年の145円を維持

売上高 単位：億円	上期 期初予想	上期 今回予想	増減	売価差	数量差
電子・先端プロダクツ	500	500	± 0	+ 2	△ 2
ライフイノベーション	200	200	± 0	△ 7	+ 7
エラストマー・インフラソリューション	650	650	± 0	+ 20	△ 20
ポリマーソリューション	675	675	± 0	+ 4	△ 4
その他 / 消去差	75	75	± 0	-	± 0
合 計	2,100	2,100	± 0	+ 19	△ 19

営業利益 単位：億円	上期 期初予想	上期 今回予想	増減	売価差	数量差	コスト差等
電子・先端プロダクツ	110	100	△ 10	+ 2	△ 18	+ 6
ライフイノベーション	40	50	+ 10	△ 7	+ 16	+ 1
エラストマー・インフラソリューション	10	15	+ 5	+ 20	△ 6	△ 10
ポリマーソリューション	15	5	△ 10	+ 4	△ 3	△ 11
その他 / 消去差	5	10	+ 5	-	+ 4	+ 1
合 計	180	180	± 0	+ 19	△ 7	△ 12

売上高 単位：億円	通期	通期	増減		売価差		数量差	
	期初予想	今回予想						
電子・先端プロダクツ	1,050	1,050	±	0	+	24	△	24
ライフイノベーション	500	450	△	50	△	11	△	39
エラストマー・インフラソリューション	1,350	1,400	+	50	+	86	△	36
ポリマーソリューション	1,500	1,500	±	0	+	47	△	47
その他 / 消去差	150	150	±	0		-	±	0
合 計	4,550	4,550	±	0	+	146	△	146

営業利益 単位：億円	通期	通期	増減		売価差		数量差		コスト差等	
	期初予想	今回予想								
電子・先端プロダクツ	235	225	△	10	+	24	△	27	△	7
ライフイノベーション	100	110	+	10	△	11	+	6	+	15
エラストマー・インフラソリューション	10	25	+	15	+	86	△	25	△	46
ポリマーソリューション	75	45	△	30	+	47	△	10	△	67
その他 / 消去差	10	25	+	15		-	+	12	+	3
合 計	430	430	±	0	+	146	△	44	△	102

売上高 単位：億円	2020年度				2021年度				2022年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q実績	2Q予想	下期予想
電子・先端プロダクツ	171	196	200	211	210	228	223	240	219	281	550
ライフイノベーション	53	109	205	63	60	193	109	99	64	136	250
エラストマー・インフラソリューション	198	220	248	252	246	268	261	293	304	346	750
ポリマーソリューション	253	251	283	313	318	315	295	339	316	359	825
その他 / 消去差	87	65	82	85	35	40	40	37	41	34	75
合計	762	841	1,017	924	867	1,044	928	1,009	944	1,156	2,450

営業利益 単位：億円	2020年度				2021年度				2022年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q実績	2Q予想	下期予想
電子・先端プロダクツ	28	38	36	40	44	48	46	49	41	59	125
ライフイノベーション	0	24	114	10	3	104	12	36	5	45	60
エラストマー・インフラソリューション	3	△4	△19	△15	1	△0	△12	△23	△2	17	10
ポリマーソリューション	13	16	25	30	26	18	19	16	△1	6	40
その他 / 消去差	0	3	3	2	4	5	4	2	6	4	15
合計	44	77	160	67	77	175	70	79	49	131	250

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Possibility of chemistry

Denka

本資料に関するお問い合わせ先

デ ン カ 株 式 会 社
コーポレートコミュニケーション部

TEL

03-5290-5511

URL

<https://www.denka.co.jp>